



なきごえ



1987

12

岸田善三郎



春先の3月、台湾坊主の篠つく雨の中を、わが家の庭先の竹に作った巣から巣立ったキジバトの親子の、一夜明た再会の一コマである。

「太郎！ おおおお、無事だったかい！」

「お母さん！」

「もう会えないと

思ったよ。お母さんはほんとに心配で、昨夜は一睡もしなかった。もう会えないと思ったよ。怪我はないかい？ いつも猫のブチを追っ拂ってくれていた犬のコロに、反対に、追いかけられた時は」

「もう必死だったよ。あわやという時に、ずっとんできたこの家の主人に助けられたんだ。夫婦二人してダンボールの箱の中に仮の寝床を作ってくれてね。奥さんの優しい柔かい掌が、まるで、お母さんの胸毛のようだったんだ。ちょっとは居心地悪かったけど、おとなしくしているうちに眠っちゃった」

「良かったね。ほんとに！」

「うん。今朝、ご主人が卒業式に出かける前に、二人して放してくれたんだ。思いっきり大空を駆け抜けなさいって！」

「そう！ 花子も無事であるの椈の下枝にいるよ。あっちにおいでよ、翔べるかい？」

「うん、大丈夫。翔べるよ」

小さい藤棚の上で、お互いに躍り上って、羽根をバタバタさせながら、嘴をつつき合せて、無事を喜び合っているキジバトの親子のたえようもない愛の絆。思わず嬉し涙の感動の場面であった。

近くに公園のあるせいか、それとも、山の樹々を雑然と植え込んでいる故か、いつとはなしに鳥達がよく訪ねてくれる。もっとも鳥達によって渡る樹の種類に好みがあるようである。キジバト達は、裏のくみからコブシを経て椈の下枝に。ヒヨドリ達は、桑からコブシを経てヤマモモへと交錯する。人の世の出会いにも似て、こういった生活のルールは興味深い。

これまで、人びとは自然に生きる鳥達にさまざまな想いを托してきた。人知を超えた自然の大きさ、その摂理の偉大さを。けれども、昨今の世情は、動物達にとって、まことに物哀しいようである。地球のあちこちに起っている『緑』の問題にしても、尊厳なるべき人類の身勝手ともとれる『破壊』と映っているかも知れない。時には、自然を支配する生と死のルールにまで、機械の手をかりた人間の『力』が働きかねない世の中である。

あの感動の朝からもう3年の余にもなる。わが家のコロも今はⅡ世で、秋田犬の6ヶ月。裏のくみの樹の下で、私との間に落ちてくる実の拾いあいに余念がない。そのコロも私達も、キジバト達のクーパーポポー（私にはこう聞える）という鳴き声で起き始める。今年も、1月1日元旦の朝まだき、以前と同じ竹の巣から翔び立った二羽のキジバト達は、今、どこで、どんなにして暮していることだろう。幸を祈るや切の今日此頃である。

(東大阪市教育委員)

★★

なきごえ12月号もくじ

動物と私..... 2
“ヨザルのベビー”..... 3
動物園グラフ・動物園日記..... 4・5
爬虫類の飼育と生活..... 6・7
台湾鳳凰谷バードガーデンの案内..... 8・9
動物なんでも相談室⑩..... 10
動物園ニュース..... 11

★★

表紙の写真説明

“エゾヒグマ”(Ursus arctos lasiurus)

ヒグマはヨーロッパ、シベリアそれに北アメリカにわたり広く分布していますが、このエゾヒグマは北海道だけに住んでいます。写真のエゾヒグマは赤褐色ですが、この他、黒で首に白い輪のある個体もいます。(撮影：土谷 正道)



“ヨザルのベビー”

10月5日、夜行性動物舎の住人、ヨザルの夫婦にベビーが誕生しました。ヨザルは哺乳の時以外は父親が赤ちゃんの面倒をみるという変った習性があります。お父さんの背中から時々可愛らしい顔をのぞかせています。

(撮影：土谷 正道)

動物園グラフ

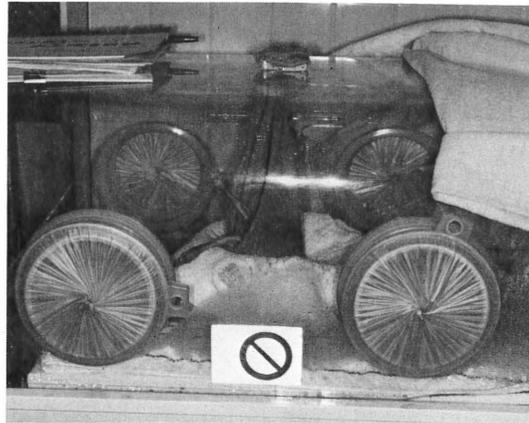
なぎごえ23(12),1987

「人工哺育で育つアカカンガルー」

10月1日に母親の袋から落ちているのを発見されたアカカンガルーの赤ちゃんは、早朝から夜遅くまでの担当者の懸命な世話で、順調に育っています。眼も開いてやっとかわいらしさのでできた赤ちゃんを、特集してみました。(撮影:宮下 実)(11月5日撮影)



朝7時から夜9時まで、1日に6回哺乳。使用ミルクは肉食動物用の粉ミルク、エスピラックを適度な濃度に希釈。



哺育器は人間の未熟児用のものを使用。器内の温度は約36℃、タオルで作った袋の中が大好き。



哺乳ピンはオーストラリアでカンガルー用に開発された特殊な乳首に注射器の外筒をつけて使用。



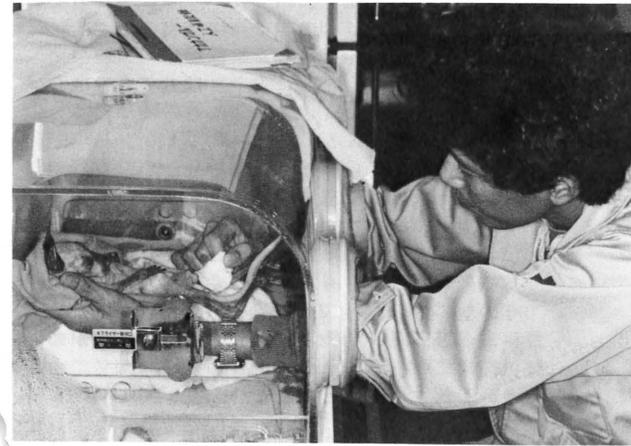
手足の先端、鼻すじ、眼の周囲、耳などが黒くなってきました。毛ははえていません。

10・11月の動物園日記

- 10/5. 今月1日、母親の袋から落ちたアカカンガルーの赤ちゃんは、人工哺育で順調に育っています。ヨザルの子が1頭生まれました。
- 10/7. ヒメクロウミツバメを1羽保護しました。カバが交尾しました。
- 10/10. キーウィ、ハリモグラの体重測定を行いました。動物映画会を開催しました。センダイムシクイ2羽、タシギ1羽を保護しました。

- 10/11. キーウィ「ニュージー」の抜け落ちた羽毛の中にまっ白のものが1枚発見されました。
- 10/13. オオサマペンギンを含む3種6羽のペンギンを冷房室から屋外展示場に移しました。
- 10/16. 人工哺育中のアカカンガルーの目が開き始めました。
- 10/18. ヒョウの子が足をけがしたので、麻酔シレントゲン検査を行ないました。
- 10/18. 秋の動物園まつりがはじまりました。
- 10/18. 第30回動物のお話とスライドの会「鳥の楽園の鳥たち」を開催しました。

なぎごえ23(12),1987



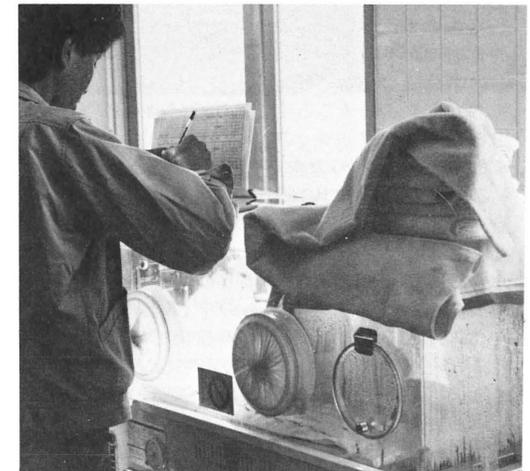
哺乳前に排尿、排便のためにマッサージ。



哺乳量は1回7~9ml。1日に40~50ml飲みます。



体重は毎日、その他の体の諸計測は週1回測定。10月1日に210gの体重が、11月5日には436gと倍増しました。



カンガルーに限らず、動物の赤ちゃんの人工哺育はとにかく愛情と根気。日常の観察記録は今後の大切な資料です。

- 10/19. ヒクイナとフクロウを保護しました。
- 10/21. アマツバメを1羽保護しました。
- 10/22. キジ類にワクチンを接種しました。ホッキョクグマのメスを、出産準備のため屋内隔離をはじめました。
- 10/24. バードケージ内ではじめての繁殖個体であるアカハシリウキウガモのヒナ(8月26日ふ化)の2羽が、初めて飛んで下の池へ飛来しました。
- 10/27. 角を折ったバーバリシープの治療を麻酔をかけて行ないました。
- 10/29. 人工哺育中のアカカンガルーの身体測定を行ないました。

- 近畿地区動物園技術者研究会が、京都市動物園で行なわれ、当園からは2名が出席し研究発表を行ないました。
- 10/30. ヒョウが交尾しました。
- 10/31. ゴールデンキャットの内部寄生虫の駆虫を行ないました。
- 11/1. サル舎、ヒビ舎のフロアー暖房を開始しました。今季初のオオミズナギドリを保護しました。
- 11/2. ホッキョクグマのメスを出産準備のために産室に隔離しました。
- 11/3. 元気を回復したオオミズナギドリを放鳥しました。

爬虫類の飼育と生活

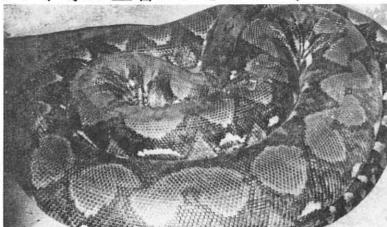
なぎごえ23(12), 1987

§ はじめに

今日も又、小学校や幼稚園の子供達が動物園に大勢来ています。待ちに待った遠足のようで、ちびっ子達の歓声は、動物園にも一段と活気を与えてくれるようです。皆の大きな楽しみは、ゾウやキリン・カバ等の大きな動物、ライオン・トラ等の猛獣の仲間、愛嬌のあるサル達、でもそれだけではありません。

「先生ヘビ見たい」「ヘビ見に行こうよ」口々に先生に訴えます。そうです、子供達はヘビが大好きなのです。ヘビを初めとするカメ・ワニ・トカゲの爬虫類を一番の楽しみにしている子供も少なくないようです。

やがて、彼らの延々とまさしく長蛇の列が丸い爬虫類舎を取り囲んでいきますと、とりわけ、大きなアミメニシキヘビの姿には、ますます大きな歓声がわき起っているようです。小さなクロネズミヘビの赤ちゃんにも、小さな目が注がれています。さらに変わった名前のカメ、マタマタ、親しみのもてるゾウガメやアカウミガメ、水の王者にふさわしい、ミシシッピーアリゲーターの輝く目。爬虫類は彼らにとって魅力あふれる動物なのです。



アミメニシキヘビ

でも引率の先生の中にはできるだけこの場を早くすまそうと、足早に子供達をせき立て、自らは決してヘビの姿を見ようとしないう先生もいます。

子供を連れた家族連れでも、爬虫類舎は子供だけで見に行かせ、親は外で待っている。こんな光景はけっして珍らしくありません。若い2人連れでは女性が男性の影にかくれるように、まるでお化け屋敷に入ったように、こわごわのぞき込んでいます。こんな極端な動物の見方は他の動物ではほとんど見かけることはありません。どうして大人になるとヘビを嫌い、爬虫類嫌いの人が出てくるのでしょうか。

爬虫類は、いわゆる人気のある動物ではありませんが、見てみたいとなれば上位にくることうけあいです。

誤解されている動物、爬虫類。でも古今東西、これ程人々の暮らしの中に、潜在的にはありますが、深くかかわっている動物も少ないでしょう。そのもの持つ神秘的な形態と習性は神としてあがめ、恐れられ、あるいは想像の動物、竜を生み、様々な形で、今もお世界中の人々の生活の中に決って風化することなく脈々と生きつづけています。

来年はその竜の年、次は蛇と爬虫類がきます。そこで今回はこのよく知られていない動物、爬虫類の天王寺動物園での飼育とその生活について、少し紹介してみよう。

§ ヘビの飼育

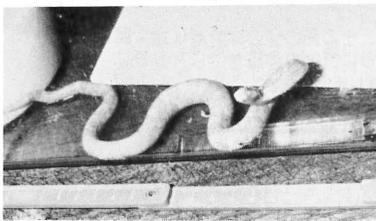
天王寺動物園の爬虫類舎には、すごいと言われる動物、ヘビは誰でもが大きな驚きを抱く大きなアミメニシキヘビ。胴の太さは人間のウ

エスト並、体長は7.8mもあります。これぞまさしく大蛇。狭すぎる部屋で窮屈そうにトグロを巻いているだけで迫力十分。中のプールは彼女(たぶん)にとっては、巨漢の相撲とりが家庭用のポリ風呂に入ったようなものです。常に上半身は水の上、はなはだ申し分けなく思っています。もう一種は当園での最長寿飼育動物のミシシッピーアリゲーター。昭和24年入園(当時一才)ということですからもうかれこれ38年も大阪での暮らしを続けていることになります。でも、ますます元気で、一週間に一回の馬肉やにわとり、あるいはコイをペロリとたいらげ、けっして老いを感じさせるところはありません。

その他に、現在3日36種102点の爬虫類が飼育されています。天王寺動物園での飼育数の約1割がこの爬虫類舎ににいるというのですから、これも又、すごいといえましょう。これだけでも知られていない爬虫類もたくさんあります。

それでは、これら爬虫類の飼育について、少し述べてみましょう。ご存知のように爬虫類は変温動物です。ですから温度が下ると体温も下り、活動できなくなり、熱帯産のものは生きて行けません。その為、10月から5月中旬まで暖房が入ります。日本にいるアオダイショウやクサガメ等は冬眠させることができますが、展示する必要上、一部を除いて暖房した所に置いて年中活動させています。

ヘビの仲間は14種40点飼育しています。ヘビの仲間は基本的には生きたものしか食べません。そしてそのヘビの一匹一匹の大きさ、活動状態によって、それぞれヒヨコやマウス、ニワトリを主に、7日、10日、或いは2週間～1ヵ月位の間隔で給餌しています。給餌は閉園後行うため、お客さんには見ることはできません。ヘビ類と一口にいても、全て種類や個体によって随分性格も違います。それぞれの脱糞や脱皮の状態、動きをよく観察し給餌の日や量を定めることが必要です。特に数頭一緒に収容していると、知らず知らずの内に採食量が不足する個体もでてきます。爬虫類の体調を知るには簡単ではありません。気が付いた時はもう手遅れだったということもあります。一度悪くなったヘビを健康に戻すことも、長い長い時間がかかるようです。ちなみに、あのアミメニシキヘビは今年の3月から10月末までに16羽のニワトリを食べました。今年7月末にフ化したクロネズミヘビは最初



クロネズミヘビ

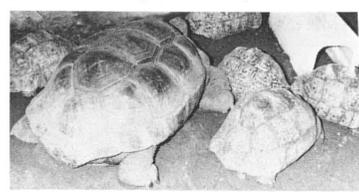
は生きたピンクマウスの冷凍したものを解凍後、口の前で生きてるように動かし、食いつかせることに成功しました。以後冷凍マウスだけを給与し、今のところうまくいっているようです。或いはこれもクロネズミヘビのものおじしない性格のせいかも知れないと思っています。それでも2頭の内、1頭はやや内気なの

なぎごえ23(12), 1987

か、給餌の時は少し暗い所に一晩置かないと食べないというような一面もあります。同じ頃フ化したアカダイショウとアオダイショウも、この冷凍のピンクマウスを使用していますが、これら2種はまだ自らは食べませんので、さし餌を行っています。クロネズミヘビのようにするにはもう少し時間がかかるかも知れません。

成長盛りのボアの子供5頭も食欲旺盛です。札幌の円山動物園から3月23日に入園以来、最初の頃は1回にマウスを1匹食べていたのですが、それが2匹ずつになり、今では1回に3匹ずつのマウスを給与しています。それも間が短くなり、一週間に一回は必ず食べ、また5日間隔位の時もたびたびです。

数にすると244匹のマウスを5頭で11月初めまで食べたこととなります。どれも平均して食べているので全て順調な成育をしていると思われます。まだまだヘビについて書きたいことが



アルダブラゾウガメとヒョウモンガメ

ザラクビオトカゲで、これは肉食です。ヒヨコや、レバー等を1週間～10日に1回給与します。それにしても全ての爬虫類の収容スペースが狭すぎます。彼らの生活を理解していただく展示からは程遠い現状だといえるでしょう。こんなことも爬虫類への無理解や偏見につながっているのかも知れません。風貌から想像もつかないエジプトトゲオアガマはタンポポの黄色い花が大好き。ある夏の好天気の日、日光浴でも、と外の芝生の上に置いてやりました。サンシャインをうけた皮膚は暗黒色から段々と体温が上るにつれ、白色に変わっていきました。心なしか表情にたくましがみながってきたようにみうけられます。そろそろ収容しようと思えようとしたとたん、彼は今まで見せたことない動きで走りだしたのです。あの一時変んなブームになったエリマキトカゲ同様の素早い走りです。立ちあがって走ることはありませんが、つかまえるのに大変苦労させられました。これ以後、外に出し日光浴させる時は腰に細いリス用のロープをつけて散歩させています。そしてポチと名づけることにしました。マツカサトカゲはほんとうにマツカサさつくり。フルーツ味のベビーフードを毎日与えています。ついでに部屋の中には本当のマツカサも数個合わせて展示しています。ウォータードラゴンは今9月に入園したばかり、広島のア佐動物公園から13頭寄贈していただいたものです。コロロギヤレバー、ミールウォーム等を給与しています。5日に1回のビタミン液も欠かせません。ドラゴンと呼ばれるにふさわしくなるにはまだまだ日数がかかります。やはり、小さくても水浴びが大好きです。

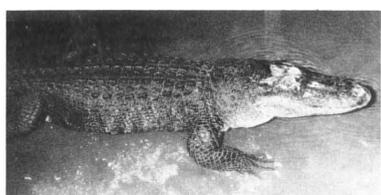
夏の間は屋外に出すのですが、ほとんどの季節、直射日光の少ない室内で飼われています。そのためカルシウムやビタミンの不足がおこることがあります。餌にカルシウムやビタミンの粉末をかけることを忘れてはなりません。ヒョウモンガメは今年6月に入園したばかりです。6頭の内1頭しか雄がいませんが数回交尾も確認していますので、これから楽しみます。その他のカメではマタマタはコイを1週間に1匹、でも温度が下がってくると、1ヶ月に1回しか食べないこともあります。後はコイの切り身を同様の間隔で給与しています。夏の暑い間は食欲も旺盛になります。アジの切り身を間に給与することがあります。特にアカウミガメやスッポン、ワニガメは特に旺盛になり、活発に動いて、餌を催促する程です。

§ ワニの飼育

続いてワニですが、3種3点しか飼育していません。はじめに述べたミシシッピーアリゲーター、ガビアルモドキ、それにメガネカイマン、これらもカメ同様1週間に1回の給餌です。3種共エサは馬肉ですが、ミシシッピーアリゲーターは馬肉のかわりにニワトリ1羽を1ヵ月に1回位、カイマンは、

まだ小さい個体ですので、マウスを6匹程、ガビアルモドキはコイを1匹、それぞれ併用して給与して

います。興味のもたれるワニ類ですが、今のところこれ以上飼育数を増やすことはとても困難だと思われます。



ミシシッピーアリゲーター

§ トカゲの飼育

最後にトカゲ類ですが、7種33点飼育しています。一番大きなのはザラクビオトカゲで、これは肉食です。ヒヨコや、レバー等を1週間～10日に1回給与します。それにしても全ての爬虫類の収容スペースが狭すぎます。彼らの生活を理解していただく展示からは程遠い現状だといえるでしょう。こんなことも爬虫類への無理解や偏見につながっているのかも知れません。風貌から想像もつかないエジプトトゲオアガマはタンポポの黄色い花が大好き。ある夏の好天気の日、日光浴でも、と外の芝生の上に置いてやりました。サンシャインをうけた皮膚は暗黒色から段々と体温が上るにつれ、白色に変わっていきました。心なしか表情にたくましがみながってきたようにみうけられます。そろそろ収容しようと思えようとしたとたん、彼は今まで見せたことない動きで走りだしたのです。あの一時変んなブームになったエリマキトカゲ同様の素早い走りです。立ちあがって走ることはありませんが、つかまえるのに大変苦労させられました。これ以後、外に出し日光浴させる時は腰に細いリス用のロープをつけて散歩させています。そしてポチと名づけることにしました。マツカサトカゲはほんとうにマツカサさつくり。フルーツ味のベビーフードを毎日与えています。ついでに部屋の中には本当のマツカサも数個合わせて展示しています。ウォータードラゴンは今9月に入園したばかり、広島のア佐動物公園から13頭寄贈していただいたものです。コロロギヤレバー、ミールウォーム等を給与しています。5日に1回のビタミン液も欠かせません。ドラゴンと呼ばれるにふさわしくなるにはまだまだ日数がかかります。やはり、小さくても水浴びが大好きです。

§ おわりに

爬虫類を担当するようになって、まだ1年にもなりませんので、まだまだ分らないことだらけです。爬虫類は動物園でも少しマイナーな見方がされているとは言えなくはないようですが、これからは飼育技術の確立と共に、展示の方法においても様々な研究と工夫をして、もっと爬虫類を理解してもらいたいと考えています。

爬虫類の多くは皮や甲らの利用などもあって、ワシントン条約でも多くのものが規制の対象になっています。その為、これからは人工繁殖の技術が今まで以上に要求されることは必至です。なんとか当園でも一役買わなければなりません。

次の機会にはぜひヒョウモンガメの繁殖、その他ヘビ類の繁殖についての記事がのせられるように努力したいと考えています。(飼育課 大野 尊信)

陳 建 成

中華民國台湾省は、近年経済面において飛躍的に発展し、人民の生活レベルは顕著に高まっています。わが政府は経済と文化の建設が共に重要であると感じ、優良な社会風紀の発展を重視して、中華民國台湾省政府により台湾中部に教育、文化、経済、観光、レジャー等の多目標の効能をもつ鳳凰谷バードガーデンを設けました。

鳳凰谷バードガーデンは1980年7月建設に着手し、2年5ヵ月経て新台幣2億余元を費やし、1982年12月18日正式に経営を始めました。ガーデンには台湾



本土の鳥類と世界各地の珍奇な鳥類を飼育、繁殖し、正に「活きた鳥類の博物館」と言えます。

更に本ガーデンは一年中

涼しい気候に恵まれ、又秀麗な風景地区に設けられて居り、特殊な文物景観もありますので、己に台湾地区の国民観光・レジャー、学生のアウトドア教育の最も理想的な場所と見なされています。休日には四方八方から多くの遊客が集中し、小鳥とたわむれたり、大自然の中に融けこんでチャタリングな景色をエンジョイしたり、或いは小鳥と対話したりするシーンに至る所に見受けられ楽しい気分がみちみち溢れます。鳳凰谷バードガーデンをもっと詳しく了解される為に、本ガーデンの内容を説明しましょう。

「鳳凰谷バードガーデン」は台湾省中部の南投縣内にあり、ガーデンの面積は30ヘクタール余りで、台湾本土及び世界各地の珍しい鳥類約300種、数千羽を飼育、展示して居り、東南アジア地区で最も規模が大きく、集めた鳥類が最も豊富なバードガーデンです。

最も特筆に値いするのは本ガーデンは山麓地帯に設けられて居ますが、各種の生態習性とも異なる鳥類、(山鳥・川鳥・海鳥から侯鳥、更に地上で活動する事に慣れている走行禽類、或いは水面で活躍する鶴鶴類を含む)をすべて海拔650メートルから850メートル間の限られた範囲で飼育、展示し、更に生存率を凡そ自然淘汰率のレベルにコントロールする事が出来たのは、正に不可能な事を可能にしたと言えます。鳥類のファンははるばる国外に向向いて山越え野越えしなくても、本バードガーデンで心のむくまま全世界各地の異なった種類のバードを観察出来るのです。その分類は次の様です。

(一) 鸚鵡(おうむ)類：コンゴウインコ、オオバタン、ショウジョウインコ等です。

(二) 台湾特有种：ヤマムスメ、テッケイ、ルリチョウ、金翼、白眉等です。

(三) オオハシ、サイチョウ：オニオオハシ、オオサイチョウ、シラガサイチョウ、シワコブサイチョウ等です。

(四) 雉(きじ)類：オナガキジ、キンケイ、ギンケイ等です。

(五) 鷲鷹(わしたか)類：鷹(とんび)、カムリワシ、カオジロハゲワシ等です。

(六) エボシドリ：ホオジロエボシドリ、オオカンエボシドリ、灰色僧帽鳥等です。

(七) カラス科：樹鵲、ホシガラス、南米琉璃鵲、白鳥鴉(巨嘴鴉の変種)等です。

(八) ハト類：紅鳩、銀鳩、キンバト、ミカドバト、カムリバト、カノコバト等です。

(九) 走禽類：ダチョウ、レア、ヒクイドリ等です。

(十) 孔雀類：マクジャク、シロクジャク、インドクジャク等です。

(十一) 海鳥類：キョウジョシギ、ダイゼン、セグロカモメ、メリケンキアシギ、チュウシヤクシギ等です。

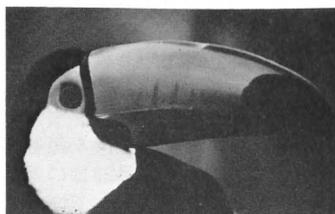
(十二) 鶴鶴類：アフリカハゲコウ、トキコウ、フラミンゴ、ハゴロモヅル等です。

(十三) 雁鴨(がんあひる)類：コクチョウ、インドガン、ハシビロガモ、カルガモ等です。

本バードガーデンは設立して5年になりますが、繁殖育成した鳥類は65種2558羽に達し、その中には特別珍奇なホオジロエボシドリ、灰色僧帽鳥、ハゴロモヅル、セイラン等を含んでいます。更に本バードガーデンが繁殖の記録を創造し、又ワシントン条約で絶滅に瀕していると思なされているパラワンコクジャクと台湾特有种の深山竹鶏をも含んでいます。

同時に、本バードガーデン所在地は本来から台湾で有名な風景地区であり、平均海拔高度は約750メートルで涼しい気候に恵まれ、花木はうっそうと茂り自然の眺めをエンジョイすると共に鳥類の生態も鑑賞出来るというメリットがあります。主な景観は次の様です。

(一) バードガーデン展示区：



本バードガーデンの鳥類展示設備はすべて自然の地形を利用して企画配置されています。その形式は以下の様に3種類に分れています。

(1) ケージ展示区：参観歩道に沿って鉄網、ガラス或いは天然石、コンクリート等で建築され、遊客ははっきり各種の鳥類の外形、羽毛の変化を観察する事ができ、その優雅な鳴声を聞く事ができます。

本バードガーデンは娯楽と教育の二重効果を達成する為、各ケージの前に説明プレートを立て、遊客の了解を深めています。

(2) オープン式ケージ：紅鶴園とスペースケージの2箇所に分けられ、地形に依って金網で山、谷をカバーしたものです。1カ所各々約1800坪に及び、内部は自然生態と景観を保持し、この中には川あり池あり、花木、芝生、アーチ橋、四阿(あずまや)等があり、遊客は中に入って景色を眺め、鳥類の生態行爲、趣味あふれる動作を観賞できます。即ち鳥類の生活サークルに入るわけです。

(3) 自然観賞区：5ヘクタールの未開発区域に、自然の環境を破壊しない原則の下にバード観賞歩道と観賞設備、鳥を誘う設備を設け、遊客が鳥類の原始生態行爲を観賞できる様にして居ます。

(4) 凍頂烏龍茶区(トンテインウーロンチャク)：世界でも有名な「凍頂烏龍茶」の故郷は本バードガーデンと5キロメートル離れた凍頂山と凍頂茶専門生産区です。この地に産するお茶は清らかな香りと飲んだ後まろやかな余韻で廣く国内外の歓迎を受けています。遊客が本バードガーデン参観後、最も好んで購買するおみやげです。

(三) 「万年亨衢」古蹟
今より110年前、清朝時代の朝廷は台湾の東、西部の商務、文化交流及び軍事上の防衛を促がす為、台湾で初めての東西横貫道路を開拓しました。この工事に當って無数の困難に遭遇しましたが、たゆまぬ努力の下にこの時代を劃する偉大な工事を完成しました。

この道路は西側の竹山から東側の花蓮に至るものです。命令を受けて建設に當った軍事長官は将来交通が四方八方に達し、文化が順調に交流する事を願って特に本バードガーデンの傍に大きな石碑を立て「万年亨衢」の銘を刻んで永らく記念に供したものです。

(四) 麒麟潭：
本バードガーデンに来る途中に、水のすきとおった山や附近の民家の影をうつし、週圍に茶の木をくまな

く植えて居る麒麟潭(池)があります。その眺めはあたかもスイスの山と湖を連想させます。ここは魚釣にも最適です。

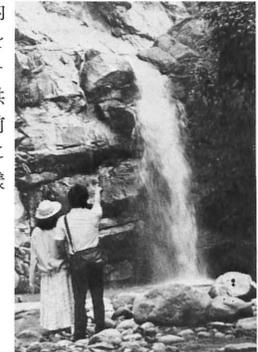
(五) 鳳凰の瀧：
鳳凰の瀧は本ガーデンの最も良い眺めと言えましょう。この瀧は上下2段に分れ、一年中豊富な水量を維持して絶壁からしぶきをあげて流れ落ち壮大な氣勢を呈し心にしみる様な寒気が迫って市塵を離れた孤独を感じさせます。中華民國の蔣經國總統が行政院長であった時曾てこの地を二度訪れ「隱潭」と名づけられました。古くから台湾における瀧見の名所として知られています。

鳳凰谷バードガーデンは東南アジアで最も規模の大きい鳥類飼育展示ガーデンで、オープンしてから5年近くたち、鳥類の飼育管理、繁殖及び経営の基礎を固めたとは言え、観光事業は必ず国民の生活レベルにつれて高め

時代の進歩に歩調をそろえ断えず創造革新し、サービスの品質をレベルアップしなければなりません。本バードガーデンの全体スタッフは必ず積極的な努力と工作态度を保持し、断えず創造に努めて国際レベルに達する事を期し国内の人民と世界中のバードを愛する人達にベストのサービスと観賞研究内容を提供します。何卒各界の先進前輩とも本バードガーデンに御來臨され御指導される様お願いします。



断えず創造革新し、サービスの品質をレベルアップしなければなりません。本バードガーデンの全体スタッフは必ず積極的な努力と工作态度を保持し、断えず創造に努めて国際レベルに達する事を期し国内の人民と世界中のバードを愛する人達にベストのサービスと観賞研究内容を提供します。何卒各界の先進前輩とも本バードガーデンに御來臨され御指導される様お願いします。



オープン タイム
毎日朝7時から午後5時まで(一年中オープン)
入園料

- 1. 一般入園料：新台幣80元、団体(20人以上)64元
- 2. 優待(半額)入園料：新台幣40元、団体(20人以上)32元
団体(國民中学以下)30元
- 3. 無料：70歳以上のお年寄り
小学校入學年齢に達しない児童
退職した公務員、教員
身体障害者
在郷軍人(榮民)

TEL：台湾省南投縣 (049) 753100(代表)
(鳳凰谷バードガーデン園長)

☆鳥のオス・メスはどうやって見わけられるのですか。

(芦屋市 前田 俊夫)

哺乳動物は外見の形態、構造のちがいなどから判断できるのですが、鳥類の場合、生殖器がお腹の中にあるため、色や形、大きさにちがいのない鳥ではオス・メスがなかなか分りにくいのが現状です。例えば、キジの仲間やカモの仲間ではオスが色あざやかな羽色をしているものが多く、メスは地面の色に似せた茶褐色の地味な羽色をしているため雌雄はすぐに分かります。

しかしペンギンやフラミンゴ、コウノトリ、ペリカンなど、外見からでは全く雌雄が分からない鳥の方が断然多く、これらの鳥類に対しては動物園では科学的に判定する方法を用いています。

1つの方法は鳥の血液や皮ふの一部を採取し、その染色体を調べることです。これは時間と手間が大変かかるため、最近では内視鏡という細い管を鳥のお腹の中に入れて、精巣や卵巣といった生殖器を直接観察するという方法をとっています。しかし麻酔してお腹の中に管をつっこむわけですから、危険性も大きいといえましょう。

それにしても鳥同士はどこを見てオス、メスを判断しているのでしょうか。教えてもらいたいものです。

(回答：宮下 実)

(イラスト：萩野 幸司)



☆リスの尾をつかんだら、尾の皮膚がすっぽり抜けて骨が出てしまいました。どうしたらよいでしょうか。

(羽曳野市 新出 雄也)



リスの尾の皮膚は簡単に抜けることがよくあります。これは防御の手段の一つと考えられます。外敵に襲われて尾をつかまれた時、尾の皮が抜けるだけで、逃げることができます。トカゲの尾が簡単に切れ、その間に逃げるができるのと同じと考えられます。

もちろんリスは哺乳類ですので、トカゲのように尾が再生してまたはえてくるようなことはありません。ですからこの方法は1回しか使えません。またキジバトなどで羽が抜け易くなっているのも同様の理由と考えられます。切れた尾の部分は、化膿しないように消毒をしてやって下さい。

(飼育課：神原 安昭)

(イラスト：萩野 幸司)

通刊 257 ~ 268号

表紙		撮影者	
① カイウサギ	山下 奉之	⑦ キーウィ	大川 光雄
② チンパンジー	大川 光雄	⑧ ルリコノハドリ	長瀬 健二郎
③ カリフォルニアアシカ	森本 委利	⑨ オオヤマネコ	堀 弘
④ クロサイ	野口 秀高	⑩ コクガン	神原 安昭
⑤ エジプトトゲオアガマ	大野 尊信	⑪ カピバラ	野口 秀高
⑥ フクロウ	長瀬 健二郎	⑫ エゾヒグマ	土谷 正道
動物と私 P 2			
① 畑 正憲	作家	⑦ 石毛 直道	国立民族学博物館
② 林 公義	横須賀市自然博物館学芸員	⑧ 西川 芳太郎	昆虫研究家
③ 恩 地 実	甲南高校教諭	⑨ 坂本 吉正	大阪市立大学教授
④ 鬼 内 仙次	作家	⑩ 吉村 元雄	大阪市立美術館長
⑤ 小金沢 正昭	栃木県立博物館 学芸員	⑪ 鈴木 不二男	大阪大学教授
⑥ 松 井 章	奈良国立文化財研究所 埋蔵文化財センター	⑫ 岸田 善三郎	東大阪市教育委員
お目見え動物 P 3		撮影者	
① ラマの一家はおおにぎわい	神原 安昭	⑦ アジアゴールデンキャット入園	大野 尊信
② ホオカザリヅル若オスの来園	中川 哲男	⑧ オランウータンの赤ちゃん、誕生	宮下 実
③ パラワンコクジャク展示開始	早川 篤	⑨ シュモクドリ入園	樽本 勲
④ ブタオザル誕生	土谷 正道	⑩ 新居で、赤ちゃんこんにちわ	神原 安昭
⑤ フクロギツネ誕生	森本 委利	⑪ ウォータードラゴン公開	大野 尊信
⑥ ペンギンの赤ちゃん、こんにちわ	神原 安昭	⑫ ヨザルのベビー	土谷 正道
動物園グラフ P 4・5		撮影者	
① ウサギの郷土玩具展(郷土玩具蒐集家)	平田 嘉一	⑦ 最近のキーウィ	大川 光雄
② 誰のミミかわかりますか ミミあれこれ	野口 秀高	⑧ 今年生まれた鳥の赤ちゃんたち	大野 尊信
③ 小獣舎ただ今改装中	山下 奉之	⑨ 大バードゲージ「鳥の楽園」8月1日オープン!	野口 秀高
④ リッキーとミナミ	森本 委利	⑩ 天王寺博覧会と動物園	中川 哲男
⑤ 小形ネコ舎ができるまで	中川 哲男	⑪ すくすく育つオランウータンのユキちゃん	宮下 実
⑥ 動物園ボランティアの活動	中川 哲男	⑫ 人工哺育で育つアカカンガルー	宮下 実

特別寄稿

- ① 兎の郷土玩具 平田 嘉一 (郷土玩具蒐集家・「おもちゃ通信」編集発行人)
- ① ノウサギを飼育して 小宮 輝之 (上野動物園)
- ② 動物園における生態的展示 若生 謙二 (日本造園学会・日本展示学会各会員)
- ④ オランウータン・サブの発達 竹下 秀子 (滋賀県立短期大学)
- ⑥ 原生林かダムか一芦生の自然とその保護一
三浦 励一 (芦生のダム建設に反対する連絡会)
- ⑧ 天王寺博覧会・巨大なるトピックス シベリアからマンモスがやってくる
田中益五郎 (財)大阪21世紀協会・広報部)
- ⑨ 金龍・金馬と動物国宝展・陝西省出土文物一
守屋 雅史 (大阪市立美術館・学芸員)
- ⑩ レニングラードの動物園事情 I. M. フォーキン
(ソ連科学アカデミー動物学研究所)
- ⑪ 鳥島のアホドリ 長谷川 博 (東邦大学理学部生物学教室)
- ⑫ 台湾鳳凰谷バードガーデンの案内
陳 建成 (鳳凰谷バードガーデン園長)

連載 P10

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 動物なんでも相談室⑮ 大野 尊信 ④ " ⑩ 東 政宏・大野 尊信 ⑧ " ⑰ 大野 尊信・早川 篤 ⑫ " ⑱ 宮下 実・大野 尊信 ② 獣医室から ④② 森本 委利 ⑥ " ④③ 森本 委利 ⑩ " ④④ 森本 委利 | <ul style="list-style-type: none"> ③ キーパーズ・アイ④⑩ 土谷 正道・松下 達夫 ⑦ " ④① 早川 篤 ⑪ " ④② 大野 尊信・早川 篤 ⑤ ケンちゃんの好きやねん動物園④ 松葉 健
《新築なった小形ネコ舎》 ⑨ ケンちゃんの好きやねん動物園⑤ 松葉 健
《鳥の楽園完成》 |
|--|--|

飼育観察記事

- | | | |
|----------------------|-------|-------|
| ② 身近な冬の野鳥 | 榊原 安昭 | 8・9 P |
| ③ シマウマ・アラカルト | 中川 哲男 | 6・7 P |
| ⑤ オランウータンの出産と人工哺育(下) | 大東 孝司 | 6・7 P |
| ⑥ ホッキョクグマの繁殖 | 榊原 安昭 | 6・7 P |
| ⑪ オランウータン、ユキの誕生 | 大東 孝司 | 6・7 P |
| ⑫ 爬虫類の飼育 | 大野 尊信 | 6・7 P |

紀行・随筆・記録・その他

- | | | |
|-------------------|---------|-------|
| ③ サル舎担当者座談会 | なきごえ編集部 | 8・9 P |
| ④ 若いゾウの訓練センターについて | なきごえ編集部 | 6・7 P |
| ⑤ 小獣舎から小形ネコ舎まで | 宮下 実 | 8・9 P |
| ⑦ 天王寺博覧会に向けて | 藤野 勝吉 | 6・7 P |
| ⑦ オセアニアの動物たち | 森本 委利 | 8・9 P |
| ⑧ インド紀行(上) | 早川 篤 | 8・9 P |
| ⑨ インド紀行(下) | 早川 篤 | 8・9 P |
| ⑩ 「鳥の楽園」をオープンして | なきごえ編集部 | 8・9 P |

動物園日記 P4・5

①~⑫ 森本 委利

動物園ニュース P11

①~⑫ 榊原 安昭

動物園ニュース

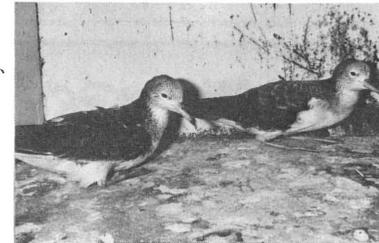
§ ヨザルの誕生

10月5日、夜行性動物舎のヨザルに赤ちゃんが生まれました。ヨザルは中南米に住んでいる体長30cmぐらいのオマキザル科の夜行性のかわいいサルです。このサルは育児を父親が行なうので、授乳時以外はいつも父親の背中にしがみついています。赤ちゃんはまだ体長5~6cmぐらいで、くるくるとした大きな目をしており、たいへんかわいいので人気を集めています。

昨年2月にも赤ちゃんが生まれましたが、4日目に死亡していますので、今回は無事に育ててほしいものです。(3ページ写真参照)

§ オオミズナギドリの保護

毎年、10~11月になるとオオミズナギドリが保護されますが、今年も11月1、2、3日と相次いで動物園へ持ち込まれました。オオミズナギドリの繁殖地は近畿地方では京都府の冠島が有名で、秋になるとマレー半島からオーストラリアまで渡るのでこの時期に多く保護されます。この鳥は地上から飛び立つことができないため、健康なものが保護されることが多く、今回も外傷がなかったため、この3羽を11月3日に住之江区の南港から放鳥しました。



§ ホッキョクグマの出産準備

昨年11月にホッキョクグマの赤ちゃんが3頭生まれましたが、いずれも翌日に死亡してしまいました。今年はぜひ繁殖を成功させたいということで、事前にプロジェクトチームを結成し繁殖準備の計画をたてました。

ホッキョクグマの繁殖を成功させるためにはメスを狭い産室に閉じ込め、静かで暗い環境を作ることが必要です。10月中旬から出産徴候と思われる食欲の減少がみられるようになったため、隔離準備を始めました。そして、11月2日には完全に産室に閉じ込め、飼育担当者も動物舎に近づかないようにしています。来月号では出産成功のニュースをお知らせしたいものです。

§ 動物園まつり開催

今年も天王寺博覧会開催中でしたが、恒例の「秋の動物園まつり」は例年どおり、10月18日から11月8日までの日曜、祝日に開催しました。天王寺博覧会開幕した8月から行なってきた動物映画会とボランティアによるスポットガイドに加え、ステージでは子供劇場の行事の一環としてボランティアの紙しば

現在の飼育動物数 (1987年10月31日現在)

哺乳類	13目	105種	447点
鳥類	20目	201種	643点
爬虫類	3目	36種	102点
計	36目	342種	1,192点

いと動物クイズ、幼稚園児によるお遊戯、手品や人形劇を行ないました。事務所前では当園獣医師による動物相談も行ないました。また、



今年は園内の動物舎5ヶ所でクイズに解答する園内オリエンテーリングを行ない、正解者には粗品を贈りました。

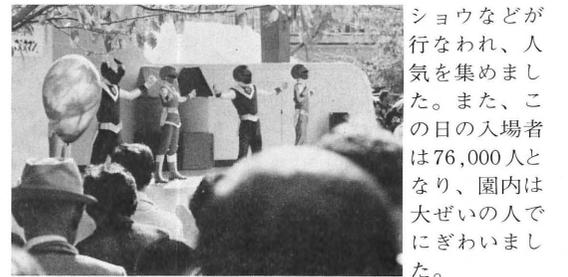
また、北園展示館では食欲の秋にちなみ「動物のグルメ」展を開催しました。

§ 天王寺博覧会閉幕

8月1日に開幕した天王寺博覧会も、100日の会期を終え11月8日に終了しました。期間中の入場者数は、247万人を数



数えました。開催中、動物園内の屋外ステージでは、子供劇場と題して天博のマスコットである「テンバク」君のショーなどが連日行なわれました。最終日の8日にはフィナーレとして「光戦隊マスクマン」



ショーなどが行なわれ、人気を集めました。また、この日の入場者は76,000人となり、園内は大ぜいの人でにぎわいました。

◎お知らせ

- 動物のお話とスライドの会
- 12月6日(日) 動物園、この一年をふりかえって
 - 1月17日(日) えとにちなむ動物のお話
 - 2月21日(日) バードウォッチング、鳥の楽園の鳥
- 時間：午後1時~2時
於：北園レクチャールーム

◎テレフォンガイドのお知らせ

N T T 堺電報電話局では、天王寺動物園の動物のお話やおもしろいエピソードなどのテレフォンサービスを行っています。電話番号は0722-23-0909で、内容は半月ごとに変わります。

*** 休園日のお知らせ ***

動物園の休園日は毎月3日曜日です。2月までの休園日は下記の通りです。

12月21日(月)、1月18日(月)、2月15日(月)

年末年始は、12月29日(火)~1月1日(金)まで休園いたします。

開園時間は、9時30分から5時までで、4時に切符売止めになります。

ゆとり満喫、信頼のカード。



ショッピングから海外旅行まで、
1枚のカードでワイドにご利用いただけます。
近鉄がDCおよびVISAと提携した便利な新カード。

近鉄グループカード **KIPS**
(キップス)

◎国内・海外のDC加盟店すべてに通用。
◎近鉄百貨店グループをはじめ、都ホテルチェーンなどでの
ご利用にはいろいろな特典が。

近鉄百貨店 お問合せとお申込みは 各店クレジットセンターへ
●アベノ店7階 ●上本町店10階 ●東大阪店本館 ●奈良店4階 ●西京都店1階
(京都ファミリー)

DEAR LIFE BOOKS

生態・飼育・図鑑 一つの本の 中にギッシリ



中川道朗・岩合徳光/監修
B5変型判・オールカラー
定価580円

動物園で暮らす様々な生き物達、
自然の中ではどんな暮らしをして
いるのか？ 動物園での世話
の仕方は？ 仲間？ など、
写真と精密イラストをまじえ紹
介します。

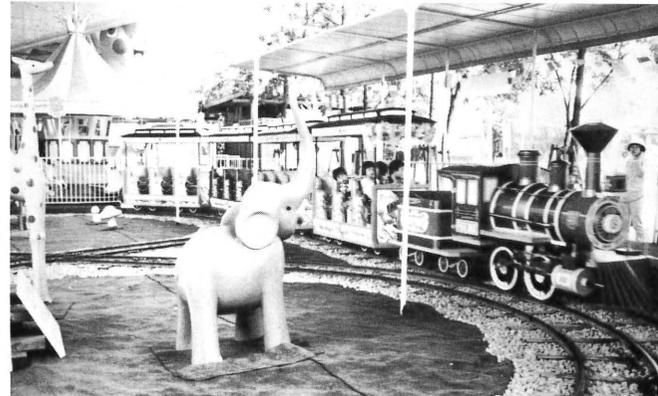
くらしかいかたシリーズ(既刊本)
B5変型判・オールカラー・各定価580円

むしくらしかいかた
野山でみかける身近な昆虫たち
250種を紹介。

ちいさないきものくらしかいかた
昆虫以外の小さな生き物を320
種紹介。

お求めは、お近くの書店で。 **☆ ひとりのくに株式会社** 本社/〒543 大阪市天王寺区上本町3-2 ☎06-768-1151代表

たのしいのりものが待っています。



1人1回
100円
(1才まで無料)

団体割引
(30人以上)
……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

いま、フィルムは 頭脳をもった。



高画質時代をリードする
はるかに美しく
フジカラー SUPER HR

カメラの大林
桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

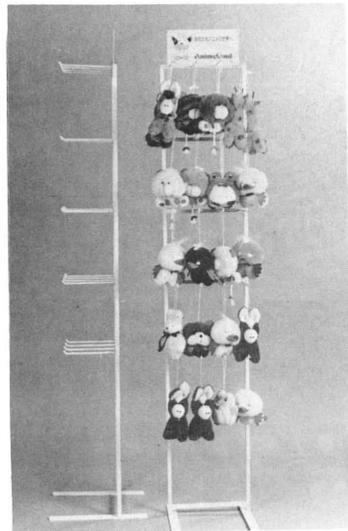
ビデオ 動物園へ行こう の無料貸出をします。



- 貸出品目/ビデオ「動物園へ行こう」
①巻・20分(10本常備)
- 対 象/保育園、幼稚園、小学校の先生
- 貸出期間/10日間
- 貸 出 料/無料(但し、郵送料450円は必要)
- 申 込 先/当協会まで、電話かハガキで
お申し込み下さい。

動物観察の手引に!
**天王寺動物園
ガイドブック**
のご購読をおすすめします。
(1冊¥450)園内各売店にあります。

大阪市天王寺動物園協会
〒543/大阪市天王寺区茶臼山町6-74 ☎(06)771-0201

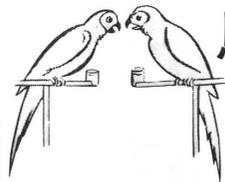


動物ぬいぐるみは 子供のゆかいなお友達

各種ぬいぐるみ企画・製造・卸

有限会社 **アニメランド**

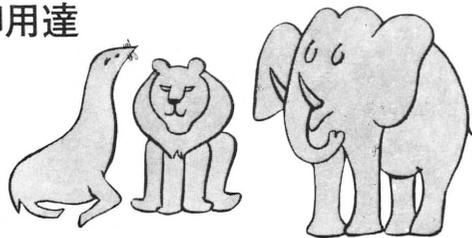
〒547 大阪市平野区西脇4丁目5番22号
TEL: (06) 704-8580
FAX: (06) 704-8565



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券250円

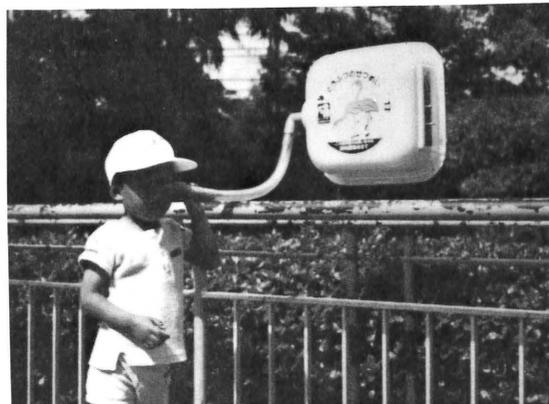


有限会社 **吉川商会**

本社 神戸市中央区中山手通3丁目11番4号
飼育場 兵庫県小野市来住町1513番地

電話(078)221-8195(代)

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

動物園内の お食事、ご休憩は

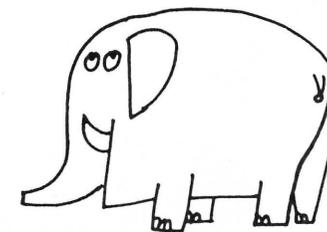
大阪市天王寺動物園内

中央売店

☎ (06) 771-0973



天王寺動物園内



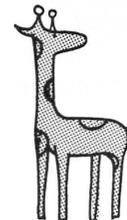
南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶臼山町6-74
電話 (06) 771-7110番

園内での写真は...

動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



◎随時係員が待機して
おりますので説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致します。

カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせていただきます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

国際航空写真株式会社

TEL 06-856-7444

もっと おいしく もっと 元気に!... 雪印



雪印 ヨーグルト 130g・250g

おなじみの果肉入りヨーグルト

新鮮です、さわやかです。フルーツが入った、おしゃれなヨーグルト。

ホワイトを基調にしたシンプルなデザインで、ヨーグルトのさわやかさにもピッタリです。

野生動物をみんなで守ろう

WE SUPPORT WILDLIFE!

天王寺動物園協会の売店に“WWF国際保護動物ぬいぐるみコーナー”が新設されました。このぬいぐるみの売上げの一部はWWFJ(世界野生生物基金日本委員会)に寄付されます。すばらしい野生動物を私たちの手で大切に守りましょう。

ぬいぐるみ販売コーナー新設



お申込み、お問合わせは——

社団法人 大阪市天王寺動物園協会
(天王寺動物園内) TEL (06) 771-0201

株式会社 ファミリア商事部
TEL (078) 321-0345

●お電話でのお申込みは動物園協会まで。
なお、郵送の場合は実費を負担していただきます。

●WWF(WORLD WILDLIFE FUND)とは?
世界野生生物基金。世界中の危機に瀕している動物たちと、その自然環境を保護するための機関です。



なきごえ 昭和62年12月10日発行 (毎月1回10日発行) 第23巻 第12号 (通巻268号)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 中川道朗

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共) 1年継続(12部) 1,100円(送料共)

編集委員 (土井良彦/伊東重朗/藤野勝吉/樽本 勲/中川哲男/齊田 高/宮下 実/長瀬健二郎/榊原安昭)
森本委利/大野尊信/野口秀高/早川 篤/藪野幸司/堀 弘/大川光雄/新出悦央/土谷正道)

〒543 大阪市天王寺区茶臼山町6-74

電話 大阪 (06) 771-0201

振替口座 大阪 37823